NTT データグループのサステナビリティ

基本姿勢

NTT データグループが持続的に発展するために、経営者・社員一人ひとりが自らなすべきことを考え、行動を改革し、事業そのものを変革するための基本的な考え方を「Our Way」としてまとめています。ここには「企業理念」を頂点とした私たちのめざす方向を集約してあります。

さらに NTT データグループ全体で共有すべき日々の活動における倫理、法令遵守等の行動規範は、「グローバル・コンプライアンス・ポリシー」として規定されています。

➢ **Our Way（理念体系）**

NTT データグループの使命	
企業理念 NTTデータグループの社会的責任であり、存在理由。	NTT データグループは、情報技術で、新しい「しくみ」や「価値」を創造し、より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する。
社員信条 社員一人ひとりが心掛けなければならない信条、行動方針	1. わたしたちは、「お客様のため」最善を尽くします 2. わたしたちは、「行動」し、「挑戦」します 3. わたしたちは、「活き活き」とした「明るい会社」をつくります
事業環境に応じた使命の実現の姿	
Group Vision NTT データグループが 10 年後にめざす姿を示したもの	Trusted Global Innovator IT の技術革新は目覚しく、ビジネスモデルの変化も急加速しているこの予測困難な時代において、私たちのめざすべき姿は、自社のみの利益を追求するのではなく、どこまでもお客様に寄り添い、お客様の豊富なアイディアと私たちが強みを発揮する世界中の最先端テクノロジーとを結び付け、ビジネスイノベーションや社会的課題の解決をともに実現していくことでお客様から長期的に信頼されるパートナーとなることです。 ビジネスパートナーとして世界中のお客様から「信頼」を得ることでグローバル市場で大きな存在感を発揮していきます。
Values Group Vision 実現に向けて、大切にする価値観	Clients First：私たちはお客様を第一に考えます。 Foresight　：私たちは、現状に満足することなく、スピード感と先見性を持って行動します。 Teamwork　：私たちは仲間とともに達成する「自己実現」を大切にします。

https://www.nttdata.com/jp/ja/about-us/mission/

➢ グローバル・コンプライアンス・ポリシー（日々の行動規範）

前文

企業が持続的に発展していくためには、お客様、株主、取引先、社会等から信頼されることが不可欠です。企業は、自らの社会的責任を自覚し、お客様をはじめとしたステークホルダーとの対話を通じて、その期待に応え、満足度を高めていくことによってはじめて信頼を得ることができます。

NTT データグループとしても、自国内外において、法令・契約を遵守することはもとより、人権を含む各種の国際規範を尊重し社会的良識に基づく行動を実践し、公正透明な事業活動を行うことによって、社会からの信頼を得ることが基本であると考えます。

さらに、NTT データグループは、情報技術で新しい「しくみ」や「価値」を創造し、より豊かで調和のとれた社会を実現する社会的使命を担う企業グループであり、地球と社会が直面する課題解決に貢献することをめざします。

これらを踏まえ、NTT データグループの一人ひとりは、本グローバル・コンプライアンス・ポリシーに基づき行動し、信頼される企業グループをめざして最善を尽くします。

適用範囲

NTT データグループの役員、社員及び協働者は、本グローバル・コンプライアンス・ポリシーを十分に理解し、以下のとおり行動する。また、役員は、率先垂範するとともに社員の高度な倫理観の涵養に努める。

原則

・事業を行うあらゆる国の法令や国際取引法を遵守するとともに、社会的良識に基づき行動する。
・企業の社会的責任を自覚し、公正透明な事業活動を行う。

お客様に対して	・お客様と適切な契約を結びこれを遵守することにより、システムやサービスを提供する。 ・お客様の情報について、関連する法令や契約に基づく管理を徹底する。
株主に対して	・健全な経営を行い、株主の利益向上に努める。 ・経営情報を適時適正に提供し、透明な経営を行う。
競合事業者に対して	・信用毀損、不当廉売・談合等の市場競争を阻害するような行為を行わず、公正且つ自由な競争を行う。 ・自社の知的財産権を保護するとともに第三者の知的財産権を尊重する。
委託先に対して	・優越的地位を利用することなく、対等な立場で取引を行う。 ・委託先との取引に適用する法令を遵守するとともに、委託先との契約に従う。
政治行政に対して	・法令や社内規則に反する接待・贈答は慎むとともに、いかなる場合であっても贈賄行為に関与しない。汚職が疑われる行為も慎む。
社会に対して	・ボランティア活動、地域交流などの社会貢献活動に積極的に取り組み、よき企業市民としての責務を果たす。 ・文化・価値観の多様性を尊重するとともに、事業を行う国々の発展に貢献する。 ・反社会的勢力との取引は一切行わない。
環境に対して	・システム・ソリューションを社会に提案し環境負荷の削減に貢献する。 ・事業活動によって生じる環境負荷の軽減に取り組む。 ・生物多様性保全の意識を高め、自然環境保護活動に取り組む。 ・環境関連法令などを遵守する。
社員・協働者に対して	・一人ひとりの人格・個性を尊重する。 ・人権を尊重し、性別、国籍、信条、宗教などによる差別を行わない。 ・ハラスメントを行わない。 ・就業管理を適切に行い、過重労働・不払い残業の発生を抑止する。

社員として	・情報セキュリティを確保するとともに、プライバシー侵害、不正アクセス等を行わない。 ・会社の諸規程を遵守し、会社と利益が相反する行為や会社の負担で個人的利益を得る行為を行わない。 ・インサイダー取引を行わない。 ・取引先との間で社会的常識の範囲を超える接待贈答の授受を行わない。 ・インターネット上のソーシャルメディアに対して、実名か匿名かを問わず、会社の機密情報や会社又は第三者の権利・信用を害するような情報を投稿してはならない。 ・本グローバル・コンプライアンス・ポリシーの違反その他の不正行為を発見した場合は、速やかに上長又は組織長等に報告する。ただしそれに拠り難い場合にはホイッスルラインへ通報することとし、会社は当該通報者に不利益が及ばないよう保護する。

https://www.nttdata.com/jp/ja/about-us/mission/policy/

NTT データグループの ESG 経営

近年、SDGs（持続可能な開発目標）に代表されるように、社会・環境課題へのグローバルな対応が企業に求められており、ESG（環境・社会・ガバナンス）の軸で、企業の社会との関わりを評価する動きが高まってきています。

当社の企業理念「情報技術で、新しい『しくみ』や『価値』を創造し、より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する」にもあるとおり、当社においては事業そのものがお客様や社会の抱える課題を IT の力で解決するものです。技術が飛躍的に発展し、デジタルトランスフォーメーションの流れが加速している中、私たちへの期待はますます高まってきていると感じています。

こうした考えのもと、中期経営計画（2019～2021 年度）では「NTT データグループの ESG 経営」として、ESG の考え方を明確にし、経営戦略に織り込みました。当社は「変わらぬ信念」のもと、「お客様とともに未来の社会を創る」を基本的な考え方として、お客様や社会が持続的に発展していくためのソリューションを提供するとともに、人財育成や働き方改革等の多様性の尊重等に配慮した企業活動を行うことによって、社会課題の解決に貢献するとともに、企業価値を持続的に向上させていきます。

ESG 経営の推進体制

NTT データグループでは、代表取締役副社長執行役員及び執行役員のもと、ESG 活動全般に関するマネジメントを行っています。情報の取りまとめ、社内啓発、社外とのエンゲージメントなど関連業務については総務部が担い、事業を通じた社会課題の解決に貢献するための取り組みは、各事業本部等の単位で ESG 活動を実施しています。

ステークホルダーとの対話

NTT データグループは、日常業務における対話を重視し、ステークホルダーの皆様とともに歩む姿勢をグループに浸透させるとともに、幅広い社会からの期待について検討し、社会課題の解決に向けて取り組んでいます。

➢ **ステークホルダー・エンゲージメントの概要**

ステークホルダー		関連する ESG 重要課題	主なアプローチ
お客様	NTT データグループの提供するサービス等をご利用になる法人等、すべてのお客様	・先進技術等を活用したソリューションの提供 ・IT インフラの安定運用 ・情報セキュリティの徹底 ・データプライバシーの保護	・日常の営業・提案活動 ・お客様満足度調査 （アンケート、インタビュー）
株主・投資家	NTT データグループの株主の皆様をはじめとした、個人・機関投資家の皆様	・先進技術等を活用したソリューションの提供 ・IT 人財の確保・育成	・定時株主総会 ・アニュアルレポート ・IR サイト ・決算説明会 ・株主通信
政治行政	IT サービス事業をはじめ雇用・経済・環境などの政策を司る国及び地方自治体	・先進技術等を活用したソリューションの提供 ・IT インフラの安定運用 ・情報セキュリティの徹底 ・データプライバシーの保護 ・コンプライアンスの徹底 ・働き方変革の推進 ・ダイバーシティ＆インクルージョンの推進	・各種届出・報告 ・官公庁の審議会・委員会・研究会など ・業界団体の各種委員会・検討会
社会 NPO NGO	NTT データグループ各社と本業を通じてかかわりがある地域社会、非営利団体等の皆様	・働き方変革の推進 ・ダイバーシティ＆インクルージョンの推進 ・IT 教育の推進 ・気候変動問題への対応 ・データプライバシーの保護	・地域イベントへの参加 ・社会貢献活動における協働・協賛 ・Web サイトからの意見交換 ・アドバイザリーボード
お取引先	NTT データグループのサービス等提供にあたり、様々な協力をいただいているビジネスパートナーの皆様	・責任あるサプライチェーンの推進	・日常の取引活動 ・ビジネスパートナー（BP）社長会 ・意見交換会 ・技術説明会
社員	NTT データグループで働く社員とその家族等の皆様	・IT 人財の確保・育成 ・働き方変革の推進 ・ダイバーシティ＆インクルージョンの推進	・社員満足度調査 ・経営幹部キャラバン ・提案 Patio （ボトムアップの提案窓口） ・相談窓口 ・各種カウンセリング

https://www.nttdata.com/jp/ja/sustainability/management/stakeholder-engagement/

外部有識者からのアドバイス

NTT データグループは、IT やグローバルビジネスに見識を持つ社外の有識者から意見を得ることを目的として、2012 年 7 月より企業経営者・学識専門家など 5 名で構成される「アドバイザリーボード」を設置しています。メンバーは 2 年ごとに選任され、年 2 回開催される会議で、経営課題や社会課題について助言を受け、事業運営に活かしています。

https://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2019/022803

回	第三期	第四期
設置時期	2017 年 10 月～ 2018 年 9 月	2019 年 2 月～
開催頻度	年 2 回	
メンバー（敬称略／五十音順）	・新井 紀子 国立情報学研究所 教授 社会共有知研究センター長 ・安藤 佳則 （株）安藤佳則事務所 代表取締役 ・池 史彦 元本田技研工業（株） 代表取締役会長 ・海堀 周造 横河電機（株） 取締役 取締役会議長 ・山口 廣秀 日興リサーチセンター（株） 理事長	・伊東 信一郎 ANA ホールディングス（株） 取締役会長 ・岩下 直行 京都大学公共政策大学院 教授 ・遠藤 功 （株）ローランド・ベルガー 日本法人会長 ・三品 和広 神戸大学大学院経営学研究科 教授 ・村木 厚子 津田塾大学 客員教授
議論	・グローバル戦略 ・デジタルビジネスへの取り組み ・社会変化を捉えた当社の競争優位性の獲得に向けた取り組み	・前中期経営計画における課題 ・新中期経営計画の浸透・発信 ・ESG 経営の推進（働き方変革等） ・デジタルガバメントへの取り組み

※役職についてはメンバー決定のプレスリリース時点の情報になります。

外部イニシアチブへのコミットメント

・Science Based Targets initiative(SBTi)
・気候変動イニシアティブ(JCI:Japan Climate Initiative)
・Women's Empowerment Principles(WEPs)
・一般社団法人日本経済団体連合会「企業行動憲章」

外部団体への参加

NTT データグループでは、予防的アプローチの観点から外部団体への参加を通じて、社会課題に対する情報共有・検討を行っています（主な団体のみ掲載）。

・一般財団法人 日本データ通信協会
・一般社団法人 電気通信協会
・日本電子決済推進機構
・公益社団法人 経済同友会
・一般社団法人 日本経済団体連合会

ESG 重要課題

ESG 重要課題の特定プロセス

NTT データグループでは、今後 3 年から 10 年の間に社会やビジネスに大きなインパクトをもたらす先進技術や社会動向を調査し、将来変化を予見した「NTT DATA Technology Foresight」を毎年発表しています。2019 年度に実施した ESG 重要課題の設定に際しては、「NTT DATA Technology Foresight」をインプットとし、お客様満足度調査や社員満足度調査、株主様・ESG 機関投資家及び NPO 有識者との個別ヒアリングなどを通じて、社会にとっての重要な課題と当社への期待を加味し、取締役会での議論を経て、新たに 12 の ESG 重要課題を設定しました。

Step 1
課題の設定

NTT DATA Technology Foresight 2019（世界に変化をもたらす重要課題）を社会課題として設定

60 課題

Step 2
課題の選定

「社会にとっての重要性」「当社にとっての重要性」の 2 軸により、重要性を検討し、当社に関連する課題の選定と優先付け

【社会（ステークホルダー）の重要性情報】
- お客様満足度調査（約 520 社）
- 社員満足度調査
- 株主・投資家からのヒアリング
- 調査・格付機関の評価結果などの整理・分析、NPO・NGO 有識者からのヒアリング
- 政治行政（SDGs、Society5.0）
- 主要なサプライヤへの書面調査　等

【NTT データグループの重要性基準】
- Our Way（企業理念/Group Vision/Global Compliance Policy 等）
- 中期経営計画
- 倫理ガイド/セキュリティポリシー/サプライチェーン CSR 推進ガイドライン
- NTT グループ人権憲章/CSR 憲章　等

【外部標準、動向、枠組み】
- GRI スタンダード、ISO26000　等

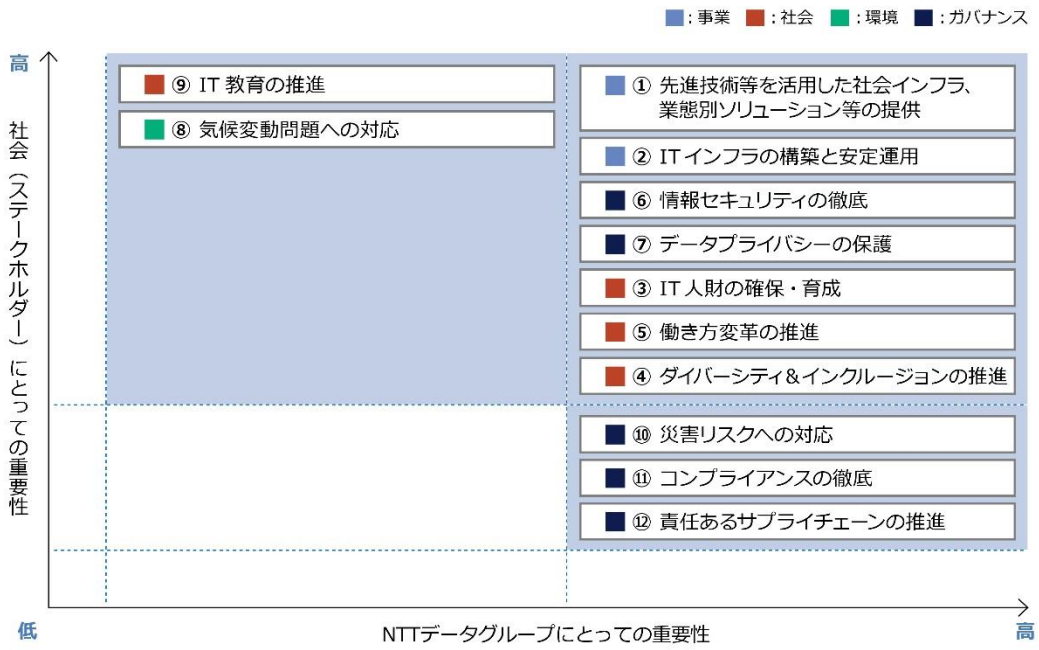
15 課題

Step 3
議題の決定

特定した重要課題に対する妥当性について、当社の重要な意思決定者によって構成される「取締役会」にて判断し、決定

12 課題

➢ **ESG 重要課題のマトリックス**



➢ **ESG 重要課題の内容**

カテゴリ	ESG 重要課題	内容
Business（イノベーション）	■ ①先進技術等を活用した社会インフラ、業態別ソリューション等の提供	社会課題の解決に向け、デジタル技術を含む先進技術を用いたサービスをお客様に提供する。
	■ ②IT インフラの構築と安定運用	インフラ企業として、お客様に提供するサービスの品質を高いレベルで維持し、安定運用を実現する。
人財	■ ③IT 人財の確保・育成	優秀な IT 人財を外部から獲得し、研修等を通じて社内で育成し、離職を防止する。
	■ ④ダイバーシティ＆インクルージョンの推進	人財の多様性を高め、社員一人ひとりが多様性を理解し、その能力や経験を活かす。
	■ ⑤働き方改革の推進	長時間労働をなくし、ワークライフバランスに配慮した、働きやすい職場環境を整備するとともに生産性を向上させる。
セキュリティ	■ ⑥情報セキュリティの徹底	サイバー攻撃などから、お客様や自社の情報資産を守る。
	■ ⑦データプライバシーの保護	個人情報を適正に扱い、お客様を中心としたステークホルダーの人権を保護する。
環境	■ ⑧気候変動問題への対応	長期計画を策定し、自社データセンターやオフィスビルのエネルギー効率化等を通じ、温室効果ガスの排出を抑制する。
Community	■ ⑨IT 教育の推進	本業の強みを活かし、子どもたち、一般市民、NPO/NGO などに対して、IT のリテラシーやスキルを提供する。
災害リスク	■ ⑩災害リスクへの対応	BCP（Business Continuity Plan）の整備とその継続的な改善を実施し、損害を最小限に抑える。
コンプライアンス	■ ⑪コンプライアンスの徹底	「グローバル・コンプライアンス・ポリシー」の浸透と徹底を通じて、法令違反を防ぐ。
サプライチェーン	■ ⑫責任あるサプライチェーンの推進	「サプライチェーン CSR 推進ガイドライン」などに基づき、取引先に対して、人権・環境への配慮やコンプライアンスの徹底について、協力を依頼する。

12 の ESG 重要課題と KPI

NTT データグループは、2019 年度に取締役会での議論を経て、新たに 12 の ESG 重要課題を設定しました。2020 年度は社員一人ひとりが ESG 経営、SDG s の解決を意識して事業・企業活動に取り組むことを目的とし、ESG 重要課題に対し、目標（KPI)を設定しています。また、これらの目標を各組織の経営評価指標とすることで、当社の ESG 経営の更なる推進をめざしています。

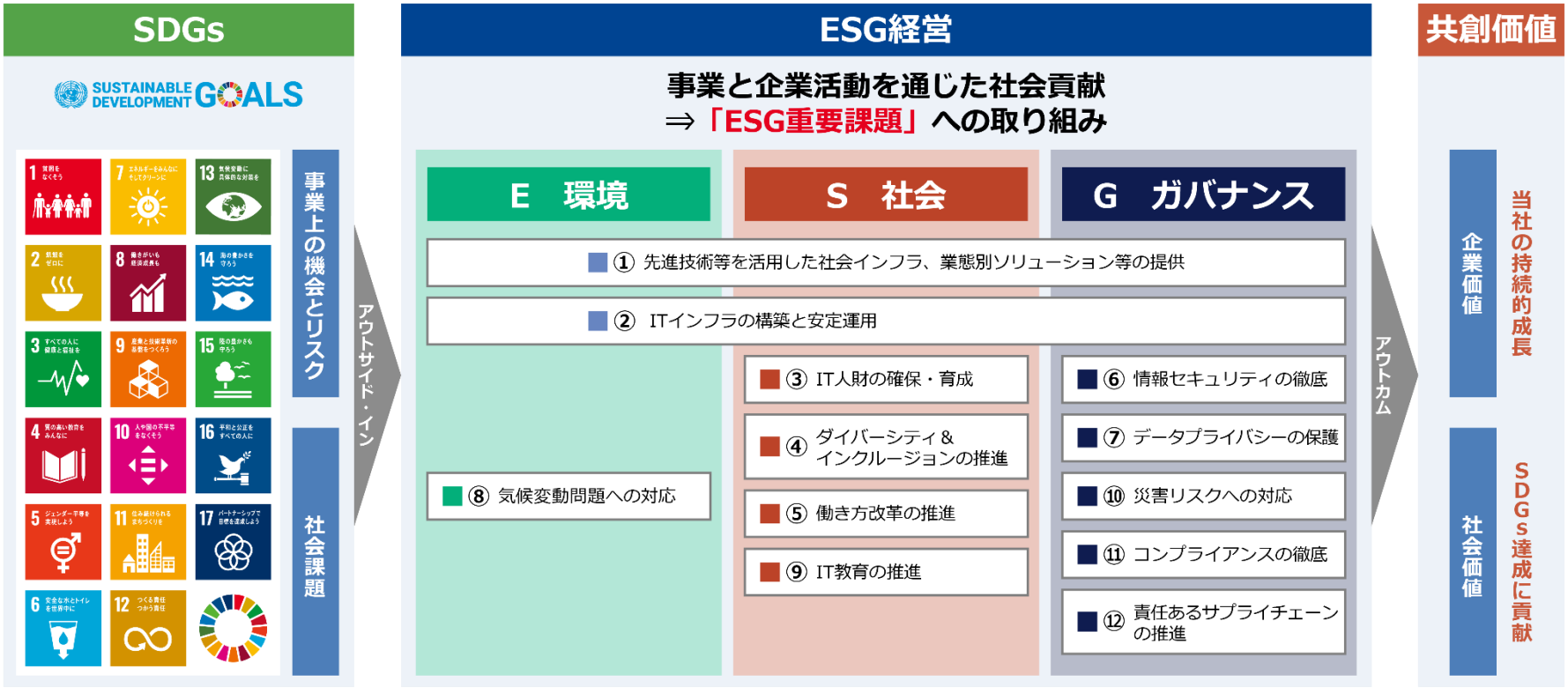
カテゴリ	ESG 重要課題	主な KPI（2020 年度）
Business （イノベーション）	■ ①先進技術等を活用した社会インフラ、業態別ソリューション等の提供	・社会課題を起点とした新規・幅出しビジネスの創出数 ・社会課題解決に資するソリューションの提案数受注件数・受注額・サービス開始件数
	■ ②IT インフラの構築と安定運用	・運用保守プロセスの改善数 ・システム稼働率
人財	■ ③IT 人財の確保・育成	・Digital 人財数／経験者採用数／人事制度の改善 ・キャリア面接実施率 ・Digital 研修（先進技術をテーマとした研修）実施回数 ・セルフイノベーションタイム実施時間
	■ ④ダイバーシティ＆インクルージョンの推進	・「多様な人財活躍」に資する施策実施件数 ・女性幹部、管理者数の増加 ・One Voice（社員エンゲージメント調査）スコアの改善
	■ ⑤働き方改革の推進	・お客様の働き方改革に資する提案案件数、受注案件数 ・働き方変革施策・組織力向上施策の実施件数 ・Digital Work Place の活用度
セキュリティ	■ ⑥情報セキュリティの徹底	・お客様のセキュリティ強化に資する案件の受注件数 ・セキュアなパブリッククラウドの提供数 ・社内セキュリティレベルの強化施策数
	■ ⑦データプライバシーの保護	
環境	■ ⑧気候変動問題への対応	・お客様の環境課題解決に資する受注件数 ・SBT*1 に基づく温室効果ガス排出量の削減や TCFD*2 への取り組み
Community	■ ⑨IT 教育の推進	・地域社会の IT 教育機会創出と実現を通じた貢献活動件数 ・NTT データアカデミアを通じた初等教育での IT 機会創出（参加人数総数と開催回数）
災害リスク	■ ⑩災害リスクへの対応	・BCP 関連ソリューションの受注件数 ・災害リスクに備えた BCP プランの改善
コンプライアンス	■ ⑪コンプライアンスの徹底	・グローバルコンプライアンス強化施策の実施
サプライチェーン	■ ⑫責任あるサプライチェーンの推進	・「NTT データ サプライチェーン CSR 推進ガイドライン」に係る誓約書を取得する取引先からの調達カバレッジ拡大
①～⑫共通		・社員への社会貢献方針の浸透率

＊1　SBT(Science Based Targets)：パリ協定に準拠した企業の温室効果ガス排出削減目標

＊2　Task Force on Climate-related Financial Disclosures:金融安定理事会のもとに設置された気候関連財務情報開示タスクフォース

NTT データグループの ESG 経営と SDGs

NTT データグループは、「情報技術で、新しい『しくみ』や『価値』を創造し、より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する」という企業理念に基づき、SDGs を参照しながら ESG 経営を進め、特定した ESG 重要課題を中心に、お客様やステークホルダーの皆様と価値を共創していきます。



外部評価（2020 年 9 月現在）

NTT データグループの ESG に対する取り組みは、調査機関から高い評価を得ており、複数のインデックスの構成銘柄に選定されています。

Dow Jones Sustainability World Index / Asia Pacific Index

FTSE4Good Index Series

FTSE4 Blossom Japan

S&P / JPX カーボン・エフィシエント指数

ISS ESG 格付 Prime

RobecoSAM Sustainability Award

MSCI 日本株女性活躍指数*

＊NTT データが MSCI インデックスに含まれること、及び MSCI のロゴ、商標、サービスマーク又はインデックス名の使用は、MSCI 又はその関連会社による NTT データへの後援、保証、販促には該当しません。MSCI インデックスは MSCI に独占権があり、MSCI、MSCI インデックス名及びロゴは、MSCI 又はその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

NTT グループの基本方針

NTT グループ CSR 憲章

NTT データグループは、NTT グループの一員としてグループのあり方を表現した「メッセージ」と、4 つの「CSR テーマ（重点取り組み）」から構成される「NTT グループ CSR 憲章」を CSR の基本方針としています。

NTT グループとして一体感のある推進体制

NTT グループでは、2015 年度から「グループ CSR 委員会」を設置し、NTT の CSR 委員会委員長を委員長、当社グループを含む主要グループ 8 社の CSR 最高責任者（副社長、常務取締役）を委員とし、グループ全体における CSR マネジメントを実施しています。また各社の CSR 推進担当者で構成される「グループ CSR 連絡会」を定期的に開催し、グループ共通の課題や各社の優良事例の共有、CSR 重点活動項目の実施状況の PDCA の相互確認など、一体感のある CSR を推進しています。

NTT グループにおける CSR 意識の浸透

NTTグループでは、CSRに関する優良施策をグループ横断的に共有することで社員のCSR意識の浸透を図り、今後のCSRや社会貢献のあり方について考えることを目的として、2013年度より「NTTグループCSRカンファレンス」を開催し、NTTデータグループは毎年参加しています。